

薬に関する説明文書（患者様用）

薬には、効果だけでなく好ましくない作用（副作用）があります。この薬を使用する場合の注意等について十分にご理解いただき、気になることがあった場合は担当医や薬剤師等の医療関係者にご相談ください。

製品名	プロハンス（プロハンス静注、プロハンス静注シリンジ）
-----	----------------------------

主成分	ガドテリドール（Gadoteridol）
-----	----------------------

剤形	注射剤
----	-----

この薬の作用と効果：

磁気共鳴画像（MRI）用の造影剤です。この薬は、常磁性金属ガドリニウムイオンのキレート化合物で、MRI 撮像において緩和時間を短縮することにより組織および病変部のコントラストを増強し、診断能の向上をもたらします。

通常、MRI 検査に使用され、脳・脊髄造影や躯幹部・四肢造影に使用されます。

この薬の使い方（用法・用量）：

通常、1 回から 2 回、静脈内に注射します。MRI 検査の際に使用します。

この薬で検査をする前にご確認いただくこと：

次のような方は、この薬を使う場合に注意が必要ですので、必ず担当医や薬剤師等の医療関係者にお知らせください。

- 以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある方
- 一般状態が極度に悪い方
- 気管支喘息、腎機能障害のある方
- 本人又は両親や兄弟が喘息やアレルギー性鼻炎、発疹やじんま疹がしやすいアレルギー体質である方
- けいれんやてんかんを起こしたことがある方
- 以前にガドリニウム造影剤を使用したことがある方
- 妊婦（妊娠の可能性がある方も含む）の方又は授乳中の方
- 他の薬を使用されている方（薬によっては、お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、使用している薬がある場合は、一般用医薬品や食品も含め、お知らせください。）

この薬で検査した後に気をつけていただくこと：

- 主な副作用として、じんま疹、吐き気、嘔吐などが報告されています。このような症状に気がついた場合は、すぐに担当医や薬剤師等にご相談ください。
まれに下記のような症状（副作用の初期症状）があらわれる可能性があります。これはすべての症状を記載したものではありません。記載されている症状以外でも少しでも気になることがあった場合は、必ず担当医や薬剤師等にお知らせください。

副作用の初期症状	疑われる副作用
顔が青白くなる、冷汗、ふらつき、呼吸困難、目や唇の周りが腫れる	ショック、アナフィラキシー
体がけいれんする	けいれん発作
皮膚がかゆくなる、腫れる、硬くなる、関節が硬直する、筋力が低下する	腎性全身性線維症

- この薬で検査をした 1 時間後から数日後に発熱、発疹、吐き気、血圧低下、呼吸困難など副作用と思われる症状があらわれる場合があります。このような症状がみられた場合には、すぐに担当医や薬剤師等に相談してください。

より詳細な情報については、担当医や薬剤師等におたずねください。

なお、医療関係者向けの情報は、医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。